

『18歳を市民に』

# 高生研

## 第59回高生研 2021オンライン 全国大会



会期・会場  
2021年8月7日(土)～9日(月・祝)  
オンライン上のZoom会場  
(サテライト会場\*は全国各地に設営可能)

### 大会テーマ

『囚われから自由になる～ケアする学校へ～』

### 日程

	9	10	11	12	13	14	15	16
7日 (土)	サテライト会場* での受付		一般分科会 10:00～12:30		昼食 12:30～13:30	全体会 (基調討論) 13:30～16:00		
8日 (日)	サテライト 会場* での受付	一般分科会 9:30～12:00		昼食 12:00～13:30		映画「プリズン・サークル」 上映会 13:30～16:30		
9日 (月)	サテライト 会場* での受付	問題別分科会 9:30～12:00		昼食 12:00～13:30		13:30～15:00 ※総会		

※は高生研会員対象

\*の「サテライト会場参加」についての詳細はP4に記載

全体会 (基調発題・討論 8月7日(土) 13:30～16:00)

高生研 2021 オンライン全国大会基調発題

「震えるアンテナ」でつながり、囚われから自由になる

発題者 渡部翔子

昨年の基調発題『震えるアンテナ』は人と人をつなぎ、学校を変える」の続編である。渡部は、学年主任として、誰をも置き去りにしない学年をつくりたいと取り組んだ。その取り組みによって、2年の修学旅行に参加出来たトランスジェンダーMは、卒業式にスカートで参加したいと言った。「みんなのための卒業式だ」「リスクがある」等の囚われから揺れる学年団。渡部を中心とする学年団はどう動いたか。共に学びましょう。

主催：全国高校生活指導研究協議会

□ 一般分科会 8月7日(土) 10:00~12:30

1 [HR] 支えあうHRを目指して

奥出雅文(福井)

地域の教育力、外部からの学び、同僚教員との協働、生徒集団からのケアなど、重層的なアプローチで『学校に来づらい生徒たち』にかかわっていく実践。

2 [授業・HR] シティズンシップ教育:民主主義社会を実現するために

三宅 愛(青森)

どのような授業やHRの取り組みが社会に主体的にかかわる市民を育てるのだろうか。映画“The Greatest Showman”の主題歌を通して自分と他者の権利に気づく英語の授業や国際的な人権資料を参考にコロナ禍における日本政府の対応を評価する英語の授業、そして文化祭のクラス展示における取り組みから探る。

3 [生徒会] コロナ禍での生徒会活動について

殷 日洙(神奈川)

休校措置の中、様々な工夫をして生徒会活動に取り組む生徒と顧問。オンラインの企画会議から始まった取り組みが、次の取り組みに発展して多くの生徒に届き反響を呼ぶ。手応えを感じる生徒会生徒とともに、「今、必要なことは何か」を追求する実践報告。

4 [総合] さつき沼ビオトーププロジェクトの取り組み

酒田 孝(青森)

閉校が決まった学校で、背水の陣として取り組んだ「総合的な探求の時間」の3年間の実践報告。公園のビオトープ化や、スピンオフ企画として始まったメイプルシロップ作りなどは、生徒が自信を持っただけでなく、地域にも大きな刺激を与えている。小さな学校が、ひたすら「面白い事」を追求し続ける。

□ 一般分科会 8月8日(日) 9:30~12:00

5 [HR] 「自分ごとのHR」を目指して一トラブルを乗り越え

砂川 優

中1のコロナ禍のHR。当初、自分を出せない生徒たちは、担任の提案もあり、自主的にレクレーションや席替えなどに取り組んでいく。不登校や家庭に問題を抱える生徒たちもつながり、いじりやいじめ等のトラブルも乗り越えていく。

6 [授業・学校づくり] <sup>とき</sup>瞬間を重ねて

清水沙弥子(大阪)

秋桜高校へ勤務して11年目を迎える。教科担当としてだけでなく、「学校づくり」の担い手として取り組んできたことや考えてきたことなどの報告をする。子どもたちにとって必要な時間とは何か、学校とはどういうところなのかということを考えていきたい。

7 [生徒会] 社会のナマに触れ、変化し成長する生徒会

有蘭和子(神奈川)

全国の高校生との交流・社会の現実に触れる活動を通しての学びから「学校は変えられるもの…と生徒誰もが考える生徒会に！」を方針化した湘南学園生徒会のダイナミックな自治活動の報告。

8 [HR] Nくんと1年1組

相良武紀(東京)

HR実践の記録。筋力が慢性的に低下する難病、筋ジストロフィーを患っているNくんの存在が、HR集団に他者との在り方を問いかける1年間を伝える。生徒集団が自分たちの問題として、互いに関心を持ち互いを学んでいく過程を、担任としてはどのように探ったのかを報告し深めたい。

□ 特別分科会 映画「プリズンサークル」 8月8日（日）13:30～16:30

取材許可まで6年、撮影2年  
初めて日本の刑務所にカメラを入れた  
圧巻のドキュメンタリー

DIRECTED BY KAORI SAKAGAMI  
**PRISON**  
プリズン・サークル  
**CIRCLE**

www.prison-circle.com

ほんたうの理由  
ほくたちがここに



この映画は、「島根あさひ社会復帰促進センター」という官民共同の新しい刑務所で長期間取材・撮影して作られた。この刑務所で行われているTC（セラピューティックコミュニティ／回復共同体）では、受刑者たちが輪になって語り合い、加害体験だけでなく被虐待体験、いじめられ体験などを言葉にすることで変化が生まれる。そこには、私たちが生活指導を考えていく上で必要な視点がいくつもあるだろう。

今回、映画配給会社東風さんと坂上香監督の特別なはからいで、全国大会での映画視聴が実現する運びとなりました。大会参加申し込みをされた方へ、映画視聴に関するご案内を別途メールでお送りします。視聴を希望される方は、そのメールの案内により、別途参加申し込みをお願いいたします。

□ 問題別分科会 8月9日（月）9:30～12:00

1 「ありがとう不登校」苦しみに寄り添い、辛さを分かち合う親の会の出会いから。

提起：江藤圭子（熊本）

2016年に「教育機会確保法」が公布され、休養の必要性が盛り込まれ、学校復帰の文言が取り除かれた。法律はできても、子どもたちは不安なく学校を休めているのだろうか？ 不登校の苦しみを通して“学校”を考え合いたい。

2 「言いたいことが言い合える教師集団をめざして

— 『3回の懲戒指導で退学』の慣例が変わり涙を流した日までに私がやったこと—

提起：梅原将大（静岡）

今、多くの学校現場で、人権無視の処罰主義が「生徒指導」という名のものに横行し、生徒の教育権が侵害されている。こうした現状を変えるための一歩をどう踏み出したらいいか、若い教師の報告をもとに意見交流をしたい。

3 「主体的対話的で深い学び」とは何なのか？「探究」とは何か？

～一斉授業と参加型授業を超えるために～

提起：藤本幹人、夏原常明、西村太志（滋賀）

学びとは、仲間との対話、対象世界との対話、自分自身との対話だと言われる。対象世界との対話が進むことで学びは深まる。教師の役割は、真理の伝達者ではなく、専門家の知見に出会わせながら生徒たちと共に横並びになって対象世界と対話することではないか。実践をもとに考えたい。

4 「映画『プリズンサークル』から生活指導に必要な視点を取り出す」

提起：牧口誠司（大阪）・内田理（埼玉）

生活指導実践の中で、生徒の多様性を尊重し、生徒が抱え込んでいる困難を受け止めようとしたときに、悪いことをした者は懲らしめるという懲罰主義とぶつかる。映画「プリズンサークル」は、社会に強固にあるこのような懲罰主義に対するカウンターだと言えるのではないか。この分科会では映画から生活指導に関わる大事な視点を抽出・議論したい。

# 高生研2021オンライン全国大会申込について

## 参加は無料、申込は「申込フォーム」から

大会は Zoom によるオンラインの形式になります。  
参加費は無料です。(大会運営にかかる費用は高生研本部会計からの支出になります。)

「[2021 オンライン全国大会参加申込フォーム](#)」右 QR コードから  
申込をお願いします。



申込内容 ・名前 ・メールアドレス ・所属 ・サテライト参加\*希望  
(6月25日(金) 〆切)  
・参加する日程と希望の分科会の選択  
<最終の申込締め切り 7月28日(水)>

## \*サテライト会場、サテライト参加とは

接続する端末(PC)から、複数人が顔をそろえて参加する形態で、その為に設定された場所が会場となります。

希望の有無や必要性、オンライン環境を見極め、可能な範囲でサテライト会場を設置。希望者には最寄りの会場が紹介され、大会当日、集まった仲間と共に Zoom 参加します。

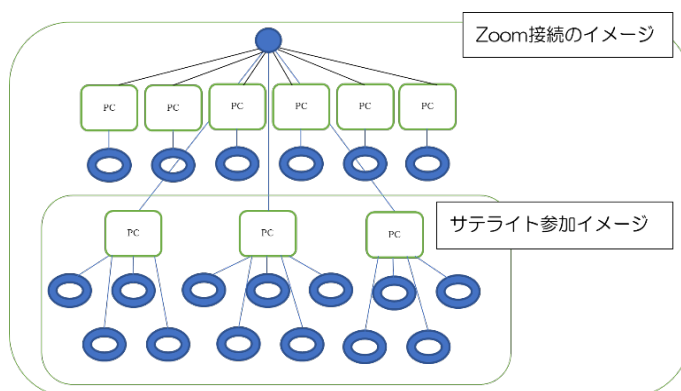
「日程」P1にある「サテライト会場\*での受付」は、それらの会場での受け付けと Zoom 接続準備の時間になります。



サテライト会場の様子

希望者は、上記「2021 オンライン全国大会参加申込フォーム」にある、「サテライト参加希望」の項目にチェックを入れ申し込んでください。

〆切：6月25日(金)まで



<大会に関する最新の情報・問い合わせ>  
「高生研大会ブローガー18歳を市民にー」

<https://kouseiken.jp/Taikai/>

安藤誠也 (高生研大会グループチーフ)  
e-mail: dodoan7@gmail.com

